
Justhivelle

月聖 リベカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Justhivelle

【Nコード】

N7369X

【作者名】

月聖 リベカ

【あらすじ】

ごく普通の家庭に育った少女ネリス。

ある日、教会学校の授業で森に薬草を取りに来ていたところ、森の奥で迷ってしまい、たまたま見つけた古い家を訪ねる。

中にいた老婆は実は魔女で、彼女から「ユステイヴェル」という本を探してほしいと頼まれ、ネリスはそれに答えた。

老婆のもとへ本を持っていくと、彼女の魔法でネリスは本の中へ！そこはまさにファンタジーな世界。

本の中の世界で繰り広げられる、ファンタジー物語！

SSZ「SSRG」にも掲載していただきます。

プロローグ〜いつもの朝〜

その本は、ひっそりと古びた図書室の奥に眠っていた。

恐らくここ数百年、誰にも触れられずに眠っているのだろう。

この本の内容は、誰も知らない。そう、【持ち主】以外は。

プロローグ〜いつもの朝〜

ヴァージア王国。其れは、自然豊かな神聖な王国。

王政は未だ衰えず、国は繁栄を見せ続けている。

これは、そんな国にある小さな村「クリー村」に住んでいる少女の物語…。

「おはよう、ネリス」

目覚めたばかりの少女に声をかけたのは、彼女の母親である。ネリス。それが少女の名だった。

まだ眠い目を擦りながら、テーブルに腰かけた。

「おはよう、お母さん」

ネリスはうんと伸びをして、目の前にある朝食に手を伸ばした。

朝食メニユーは、柔らかな小麦のパンにミルク。優しい母親の、心のこもった味がした。

ネリスの母は、彼女に向かい合うようにして座り、言った。

「今日も学校でしょ、またあの子たちが迎えに来るわよ」

「知ってるよ」

ネリスは口をもぐもぐ動かしながら答える。

「同じ教会の学校に通っているんだから。いいお友達でしょ？」

「まあ…」

曖昧な返事だけを残し、ネリスはミルクを飲み込んだ。

彼女は三人家族だ。父と母と、自分。

父は猟師で、いつも朝早くから狩りに出る。母は家で服を作る仕事をしている。ネリスは、家の近くの教会学校で、毎日勉強している。

そんな平凡な家庭に生まれ育ち、今年から初めての教会学校で平和に生活できると思っただら…。

「だつてみんな、」

ネリスは言葉を出しかけて、躊躇った。

「何？」

「…ううん、いい友達だよ、つて…」

「そう。それなら安心ね」

ネリスは作った笑みを母に見せた。しかし、母はそれには気付いてはいなかった。ただ、娘の人間関係が成功していると思ひ込んで…。

朝食を終えたネリスは、学校に行く支度をした。学校指定の制服を着て、髪形を整える。淡いブラウンの短い髪はさらさらで、綿が滑りそうだ。

ネリスのことは、先程の会話でも登場した「友達」が毎日迎えに来てくれるのだ。

「支度が終わったようね」

母はネリスに彼女の鞆を渡す。茶色でアンティークな装飾が施されている四角い鞆だ。

「ありがとうお母さん」

母にお礼を言い終わると同時に、家のドアが叩かれた。

「ネリスちゃん、御迎えに来たわよ」

ドアの向こうから、女の子の声がした。きっと友達だろう。それを聞いたネリスは、急いで玄関に行く。

「行つてきますー！」

「行つてらっしゃい」

ネリスはドアを開けて、元気に家を飛び出した。母はその姿を優

しく見守っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7369x/>

Justhivelle

2011年10月19日20時24分発行